

会



報

THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA

第 39 回 例会

1960・3・15(火) 晴

司 会 小 花 会 長 (点 鐘) ソング 奉仕の理想

ゲ ス ト 杉 山 正 健 氏 (鶴岡駅長)

会 長 挨拶 ロータリー傘贈呈について

旧年末奉仕活動の一つとして鶴岡駅に「ロータリー傘」20 本寄贈備付けることにしましたので、本日鶴岡駅長さんに贈呈致します。どうか急雨等によつて御困りの方に利用していたゞいて下さい。

ゲ ス ト 謝 辞 杉山鶴岡駅長

かねて「ロータリー傘」御寄贈の御話がありましたので上司に報告致しましたところ昨日有難く御受する様指示が御座いました。私がかつて砂越駅長時代に管内で初めて町民の方から和傘の寄贈を受け公德傘を通じて町民と駅との心のつながりを得たのでありますが、今度は之亦管内で初めて立派な洋傘の御寄贈を受けることになりました。之も何かの因念の様に思われひとしお有難く存ずる次第です。今後はこの傘を通じ広く利用者にロータリー精神を伝えると共に今朝も駅員に訓示をしたので御座いますが此の傘を通じ市民と駅との温い心のつながりをもつ様努力致します。有難う御座いました

報 告 及 追 絡 安 藤 幹 事

- ① 他クラブのチャーターナイトについて既に報告しておりますが、村上RC(4/17)新潟南R.C(4/18)は近隣クラブでもあり当クラブでも御祝をいたゞいておりますので振つて参列して下さい。
- ② ガバナー公式訪問報告資料未提出の委員会がありますので至急提出して下さい。
- ③ ロータリー記念日に婦人方の提案に協力することにした。盲学校へ寄贈の古葉書はRC事務所又は幹事迄届け下さい。

先般同校事務官に此の計画を伝えましたら従来は不足に困つて家政高校等の学生に協力を頼んで居つたそうで非常に喜んで居られました。

- ④ 「ロータリー傘」見本と違つたものが参り接涉しましたら中合デパートより大へんな御詫で近く見本通りのものを作り寄贈するそうです。
- ⑤ 会員張君の外遊にあたり同君が訪問予定の海外主なる 17 クラブに対し事前に手紙を送り友情を深めたいと思いますので国際奉仕委員会に御願ひします。

鶴 岡 ロ ー タ リ ー ・ ク ラ ブ

事務所 { 山形県鶴岡市三日町
鶴岡商工会議所内
(TEL 123・1563)

例会日 火曜日
例会場 ひさごや
(TEL 707)

次年度役員 次年度理事，丸谷茂雄君より先に次年度理事会で決定した。次年度役員次の如く発

表 満場一致決定

会 長	小 花 盛 雄君	クラブ奉仕委員長	金 井 国之助君
副 会 長	金 井 国之助君	職業奉仕委員長	早 坂 源四郎君
幹 事	佐 藤 貞 吾君	社会奉仕委員長	大 野 武 夫君
会 計	鷺 田 克 巳君	国際奉仕委員長	三 浦 岩治郎君
S A A	飯 白 祐 佑君		

卓 話 スピーカー， 会 員 今 間 壮太郎君 (海外見て歩き)
(SPEAK)

視察団一行の中にロータリアン4名を含み21名，羽田空港を出る時は，初めて乗るジェット機のことゝて，さすが一沫の寂りよを感じ，或は此の世の別れかと生れて初めて奥様と握手をして出発し，米国を振り出しに欧州，東南アジア等52ヶ国を廻り，その間体験した入出国の煩雑さ，英語に弱いために苦心された。食事，ホテル，道案内等又，見聞された各地の風物，特に道路，観光，公德，工場等得意の話術で極めて興味深く欧米見て歩を語られ，今間君御自慢の「鷹程離著陸記録」を将来外遊の参考にと会員に下さった。

SMILEBOK

(ニコニコ)

出席報告 金井(国)出席奨励委員長

本 日 の 出 席			前 回 の 修 正				
出人	36名中	出席率	75.00%	出人	29名	出席率	80.55%
席員	27名			席員	90名		89.99%
欠席者	阿部君 長谷川君 広瀬君 大野君 金井(勝)君 大竹君 佐藤(貞)君 手塚君 佐藤(貞)君 津田君 鷺田君			メア	長谷川君(3月9日東京)		
				トッ	小 花 君(3月9日東京)		
				クラブ			

本日の献立 山海の珍味数々

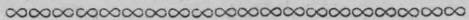
其 の 他 明16日PM6.00より例会場に於て張君外遊の比行会を催します

ロータリーの友2月号より

「ロータリー」2月号8頁は小林雅一氏の一文が掲載されている。既に読まれたことゝ思いますが，我々ロータリアンとして再読して価値あるものと思います。その文中の一節に特に深い感銘を呼ぶ辞があります。

トーマス会長就任演説の最後に述べた言葉

「私はただ一人の人間にすぎないが，単なる一人ではない。私は何でも出来る訳ではないが，何かは出来る。そして神のが護によつて，私の出来る事をしよう。」



次回例会 9月22日(火)

卓 話 予 定 京都版画院社長 品川清臣
(木版画について 作品展示)